

宇宿小学校 NIE 部会 平成 26 年度の取組について

I 各学年の NIE の目標

- 低学年（1～2 年） → 新聞の写真に興味を持ち、親子で新聞に親しむことができる。
- 中学年（3～4 年） → 新聞の記事を読み、自分の考えを持つことができる。
- 高学年（5～6 年） → 記事と自分の考えを比べたり、くわしく調べたりして、意見文を書くことができる。

II 具体的取組

1. 全学年共通の取組

- 校内 NIE コンクール … 夏休みに実施。特選作品は新聞感想文コンクールへ。
- NIE コーナーの設置 … 学年→水道前の壁を活用。各教室内にも設置。
- 委員会活動での取組 … 委員会の実態に合わせて取り組んだ。
- 子どもの作品投稿 … 南日本新聞「ひろば」「子どものうた」「オセモコ」

2. 各学年の取組 ※ 週 1 回～月 1 回程度を目安に継続的に取り組む活動

1 年 担当が新聞記事を紹介し、感想を発表し合う。

2 年 写真を中心に新聞記事を紹介し、感想を書く。

3 年 写真や本文を見て新聞記事を紹介し、感想を書く。

4 年 作文ノートに新聞記事を貼り、その記事に対しての意見文を書く。

5 年 規定用紙に新聞記事を貼り、その記事に対しての意見文を書く。

6 年 気になった記事、記事の内容、自分の考えを 400 字程度にまとめて発表する。



3. 授業実践

昨年度作成した「NIE 実践が考えられる単元一覧」の中から授業を実践した。

授業実践 1 年 国語科

- 単元 くちばし
- 目標 説明の順序や内容を考えながら読み、自分の経験と結びつけて、感想を持つことができる。
- 事前 鳥に関する記事を取り上げ、興味や好奇心を持たせる。
- 本時の流れ（1 / 8 時間目）
 - (1) 知っている鳥について発表する。
 - (2) 教師が、鳥に関する記事を紹介する。
 - (3) 教科書の鳥の写真やくちばしの絵を見る。
 - (4) 「くちばし」の学習の見通しを持つ。
- 事後 新聞の記事や写真、絵を通して、「くちばし」の説明文を読むことに興味を持ち、学習の見通しを持つことができる。
- 成果と課題
 - 教師が鳥に関する記事を紹介することによって、今まで鳥に興味がなかった児童の学習意欲を高めることができた。
 - ▲ 新聞の記事は、内容的に 1 年生に難しく、もっとわかりやすく抵抗のない記事を選ぶべきであった。

授業実践 2年 国語科

- 単元 しんぶんのしゃしんのへんしん！
- 目標 新聞記事の写真を選び、写真立てやカレンダーのような飾りを作ることで、新聞とふれあう。
- 事前
 - ・グループで新聞の内容について調べる。
 - ・新聞からお気に入りの写真を選んで、写真の飾りを作ることを知る。
- 本時の流れ（2／4時間目）
 - (1) 学習の流れを確認する。
 - (2) 新聞を見ながら、好きな写真を選ぶ。
 - (3) 選んだ写真を切り取る。
 - (4) なぜその写真を選んだが、ワークシートに理由を書く。
- 事後 選んだ写真を飾るフレームを作り、お互いの作品を鑑賞し合う。
- 成果と課題
 - 新聞記事に触れ、自分たちが日頃興味をもって読んでいる内容について話し合うことができた。
 - 新聞記事の写真を選ぶ活動を通して、話題になっている出来事を知ることができた。
 - ▲ 一日分の新聞を広げて読む作業や記事を読むことは難しいので、子ども向けのページを選んで取り扱う必要があると感じた。

授業実践 3年 国語科

- 単元 しりょうから分かったことを発表しよう
- 目標 関心のあることなどから話題を集め、必要なことについて調べ、要点をまとめることができる。
- 事前 みんなに知らせたい記事の目星をつけておく。
- 本時の流れ（4／5時間目）
 - (1) 本単元で、新聞の記事の中で相手に伝えたいことを決めることを確認する。
 - (2) 新聞を見て、伝えたい記事を見つける。
 - ・記事や写真から記者が伝えたいことを読み取る。
 - ・自分が気になる記事を見つける。
 - (3) 記事から気づいたことや分かったことをノートに書く。
 - (4) 次時にどのように話したら相手に伝わるか考える。（次時へのつなぎ）
- 事後 30秒スピーチ等で継続して伝える（発表する）機会を作る。
- 成果と課題
 - 新聞から興味を持った記事を見つけ、意欲を持って取り組むことができた。
 - ▲ 内容の読み取りは、家庭などの協力を得ながら進めていく必要があった。



授業実践 4年 国語科

- 単元 新聞を作ろう
- 目標 新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて、伝えたいことが明確になるように文章を書くことができる。
- 事前 みんなに知らせたいことを考え、新聞作りへの意欲を高める。
- 本時の流れ (1/5 時間目)
 - (1) 本単元では新聞を作ることを確認する。
 - (2) 新聞を見て、新聞の特徴を見つける。
 - ・いくつもの記事が集まってできている。
 - ・記事ごとに見出しがあり、記事によって大きさや位置も工夫されている。
 - ・写真、絵、図、表などが効果的に使われている。
 - (3) 見つけた特徴を整理しまとめ、新聞の作り方を知る。
 - (4) どのような新聞を作りたいか考える。
- 事後 グループごとに取材し、記事を書き、壁新聞に仕上げる。
- 成果と課題
 - 新聞の特徴やよさを知ることで、他教科にわたって学習発表の向上が見られた。
 - ▲ 新聞の構成等を知るだけでなく、記事の書き方まで深めていく必要がある。

授業実践 5年 国語科

- 単元 新聞を読もう
- 目標 見出しやリード文から要旨をとらえたり、複数の新聞記事を読み比べることの意味や効果を知ったりすることができる。
- 事前 興味深い記事や心に残った写真等を新聞の中から探し、新聞に興味を持たせる。
- 本時の流れ (2/2 時間目)
 - (1) 二つの新聞の写真・見出しを比べ、気づいたことを話し合う。
 - (2) それぞれの記事に対応する本文を音読する。
 - (3) 二つの記事を比べて読み、書かれている内容の違いや受ける印象を考える。
 - (4) 新聞を読む学習を通して考えたことや感じたことを発表する。
- 事後 学年 NIE コーナーに二つの新聞記事を掲示し、読み比べをする。
- 成果と課題
 - 本文と見出しの繋がりがわかった。読み比べることで、内容を詳しく読もうとする気持ちが育った。
 - ▲ 自分の気持ちを書くことはできるが、相手へ気持ちを伝えて交流することが難しい。
 - ▲ 教科書の内容から日常へどう繋げていくかが課題である。



授業実践 6年 国語科

□ 単元 「平和」について考える

□ 目標

- ・ 「平和」をめぐる自分の意見が納得力を持つように具体例や資料を集め、意見を明確に伝えるために文章全体の構成の効果を考えることができる。
- ・ 意見文をもとに、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで、意見を主張することができる。
- ・ 話し手の意図を捉え、自分の意見と比べながら聞き、助言や提案することができる。
- ・ 書き言葉と話し言葉の違いに気づくことができる。

□ 事前

- ① 「平和のとりでを築く」を読み、「平和」について考える。
- ② 学習の見通しをもつ。
- ③ 意見文の例を読み、意見文の書き方を知る。
- ④ 平和についての自分の考えを短い文章にまとめ、「仮の要旨」を決める。

□ 本時の流れ（2／2時間目）

- (1) 自分の「仮の要旨」を確認する。
- (2) 新聞の記事から意見に説得力をもたせる記事を見つける。
- (3) 見つけた記事から、自分の要旨を確定する。
- (4) 意見文の構成を考える。

□ 事後

- ⑥ 意見文の構成をもとに、記述する。
- ⑦ グループで表現や構成について助言し合う。
- ⑧ 中原さんのスピーチ CD を聞き、意見文をもとに、スピーチの構成を考える。
- ⑨ 中原さんのスピーチ CD を聞き、音声面での工夫を確認する。
- ⑩ スピーチの練習をし、よりよいスピーチとなるように助言し合う。
- ⑪ スピーチをする。また、スピーチを聞き、感想をまとめる。

□ 成果と課題

- 新聞の記事をもとに自分の要旨（平和について）を確定することができた。
- 具体例を取り上げることにより、意見文の構成を考え、説得力のある文を書くことができた。
- 意見文で活用した新聞の記事をスピーチでも活かすことができた。
- ▲ 新聞での記事収集が難しく、一部の児童の取組になってしまった。

Ⅲ 成果と課題

1. 成果

- 新聞に触れる環境が整い、子どもたちが新聞を読んだり授業で新聞を活用したりすることに抵抗がなくなってきた。
- 「NIE 実践が考えられる単元一覧」を作成し、新聞を授業の中で具体的に活用する機会が増え、新聞のよさを生かした学習が展開されるようになった。

2. 課題

- ▲ 記事の中の未習漢字を読むことが大変であり、辞書の活用や保護者の協力等を得て学習を進める必要がある。
- ▲ 新聞を授業の中で活用する場合、より効果的な場面や使用方法をしっかりと考えて今後の活用に生かしていく必要がある。